

理工学部 住環境デザイン学科(取得可能免許種:中学校・高等学校／数学 高等学校／工業)

少子高齢化時代を迎えた今日、子供を育てる環境や高齢者を介護する環境は従来までの住環境ではさまざまな支障や困難が生じ、保健・福祉などの幅広い視点を加え新たな生活スタイルのあり方を提案し、すべての人に快適な社会づくりを推し進めることが求められている。また、地球環境問題も早急な対応が求められる中、持続可能な発展のためには、環境に配慮した循環型社会への転換、すなわち、これまでの生活スタイルの見直しが求められている。

本学科では、大学の教員養成の理念に基づいて、上記の生活環境を取り巻く諸問題について、人の環境に必要な多様なデザイン感性和実践的技術を基礎から応用まで学習することで、プランナー、デザイナー、エンジニアを養成することを教育研究上の目的としているが、社会への貢献を目指す意味でも、将来の技術者を育てる工業教育を担うことができる教員養成及び工業教育の基礎となる数学教育を担当できる教員について、以下の点に重点をおきながら、本学科の教育の特徴を活かし、社会や人間に強い興味を持ち、創造性豊かで、問題発見・解決能力のある実践的指導力に優れた教職人材の育成を目標とする。

- 1) 倫理観をもって、住環境に存在する様々な問題点を的確に捉え、改善・創造することができる教員を育成する。
- 2) 住環境における光・音・熱・空気環境が人にどのように影響を与えているかを把握したうえで、低資源・低エネルギーで可能にする快適な生活環境を模索する教員を育成する。
- 3) 無機質になりがちな住環境を社会で傷ついた心身を再生する空間とするために、インテリアをはじめとする様々な住環境と調和したツールを用いた癒し空間を志向する教員を育成する。

上記資質をもつ教員を養成するため、本学科では1～3年次に少人数教育によるゼミA、B、C、スタジオ、設計演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲなどの設計系演習及び4年次に卒業研究を配置し、チームティーチングを体験させながらより実践的課題に対応させることで、問題発見・課題解決能力及び指導力を身につけてもらうことを目指している。

また、4年次に技術者倫理を科目配置するとともに、住環境デザインに係る専門科目において、プロダクトデザイン、環境工学、建築計画、都市・地域計画などの各分野で必要とされる倫理事項を主体とする倫理教育を適宜実施することで、倫理観を身につけてもらう。

さらに本学科における2つの教育上の支柱である環境デザイン系科目（住環境工学A・B、住環境設備、環境設備計画A・B、環境工学演習）と空間デザイン系科目（住生活学、インテリアデザイン論、建築計画学、デザイン方法論、地域・都市計画学、設計演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、インテリアデザイン演習、デザイン方法演習）について、講義と演習が各年次内で連動して受講できるように配置、かつ環境デザインと空間デザインを密接に関連付けて学習するために、各講義・演習内で2つの分野の関係性を意識させるプログラムを作成している。これにより、住環境デザインで必要となる多角的な視点・姿勢を持ち、それを教授できる人材を育成する。